

| <b>令和7年度第3回奈良市移動等円滑化促進協議会 議事録</b>   |   |   |                   |
|---|---|---|-------------------|
| 開催日時  | 令和7年12月24日（水）14時00分から16時00分まで   |   |                   |
| 開催場所  | 奈良市役所 中央棟地階 B1会議室   |   |                   |
| 出席者   | 委員  | <b>【計21人出席】</b><br>三星会長、矢野委員、島田委員、大西委員、元山委員、長谷川委員、紀平委員、山本委員、東口委員、山根委員、福原委員、黒委員、中谷委員（代理）、中田委員（代理）、竹澤委員（代理）、柏原委員、浜本委員、井上委員、嵯峨委員、田上委員、下谷委員<br><b>【欠席】</b> 室崎副会長、江崎委員、高橋委員、横山委員 |                   |
|   | 事務局   | 都市整備部：藤原次長<br>交通バリアフリー推進課：沖本課長、藤田課長補佐、西村、梅田、青山、辰己、水谷  |                   |
| 開催形態  | 公開（傍聴人 0人・随行者 1名）   | 担当課   | 都市整備部 交通バリアフリー推進課 |
| 議題<br>又は<br>案件  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄菖蒲池駅周辺地区・近鉄富雄駅周辺地区の重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路の設定について</li> <li>・奈良市バリアフリー特定事業計画（JR奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区、近鉄新大宮駅周辺地区、JR平城山駅周辺地区）策定作業の進捗について</li> </ul>   |   |                   |
| 決定又は取り纏め事項  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄菖蒲池駅周辺地区・近鉄富雄駅周辺地区の重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路の設定案について確認いただき、大きな方向性について承認を得た。委員からご指摘のあった内容については、事務局で検討し、委員長と調整のうえ、対応方針を委員の皆さまに共有する。</li> </ul> |   |                   |
| 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等  |   |   |                   |
| <p><b>1. 開会あいさつ</b></p> <p><b>2. 議題</b><br/> <b>近鉄菖蒲池駅周辺地区・近鉄富雄駅周辺地区の重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路の設定について</b></p> <p>長谷川委員：<br/>           菖蒲池駅周辺地区の生活関連施設のうち、商業施設はハーベスあやめ池店だけであるが、他のお店はないのか。富雄駅周辺地区においてもダイエー富雄等は指定しないのか。<br/>           また、富雄駅、菖蒲池駅ともに、駅を挟んで土地の高さが異なり、段差があったと思うが現在はどうのような状況か。</p> <p>事務局：<br/>           菖蒲池駅周辺地区、富雄駅周辺地区それぞれに、図示している以外の商業施設は存在している</p> |   |   |                   |

ため、生活関連施設の要件に合致するか再度確認する。

元山委員：

菖蒲池駅周辺地区には、スーパーのほか、建設中の老人施設もある。また、駅の周辺には医療機関が集中しているため、これらを生活関連施設に指定してはどうか。駅の北側と南側とでは高低差があり改札口も別々に設けられており、地下通路で結ばれているが、エレベーターは1台しかない。

富雄駅周辺地区にも、新たにスーパーが整備され、医療機関が点在している。駅から少し離れたところに近畿大学に向かうバスが発着するバスターミナルがあり、人の移動も多い。

三星会長：

国のガイドラインでは規模の大きい、利用者の多い施設とされているが、それ以外を除外するものではない。また、基本構想に位置付けなくてもご発言があったものを除外することが意図ではないことに留意いただきたい。

事務局：

資料1の10、11ページに掲載の生活関連施設の抽出基準に基づき、対象となる施設を抽出している。それ以外の施設については今後の検討課題としたい。

元山委員：

菖蒲池駅と富雄駅は、これまでに基本構想を策定してきた大和西大寺駅等とは異なり、駅の構造が非常に特殊であるため、現地を見ないとイメージがわきにくい。

長谷川委員：

菖蒲池駅と富雄駅ともに、新しく整備されていたり、非常に狭い道が多かったりと、線路を挟んで地形やまちの様子も大きく異なる。

事務局：

富雄駅周辺では、通学路整備の一環でバリアフリー化を含めた整備を現在計画中である。

菖蒲池駅については平成27年に地下通路にエレベーターを奈良市が設置しており、一応バリアフリー化は図られている。ただ、南側は道路が非常に狭く建物が密集している状況であるため、駅前広場を含めた検討が必要であると考えている。

今後、これまでの他地区と同様にまち歩き調査、意見交換を実施するので、その結果を計画に活かしていきたい。

山本委員：

菖蒲池駅周辺地区の重点整備地区について、南側を蛙股池から三輪神社、デイリーヤマザキの方のバスルートまで拡大できないか。バス停利用者も多く、交通量が多いが歩道整備は進んでいない。

元山委員：

伏見小学校もバスルートより北側ではないか。

山本委員：

伏見小学校は大和西大寺駅周辺地区に入っている。

事務局：

現在の重点整備地区案は、準生活関連施設や生活関連施設の立地状況を踏まえて検討している。ご意見のあったように重点整備地区を広げることは可能かもしれないが、生活関連施設がないため、生活関連経路の指定は難しい。

三星会長：

生活関連経路に指定できない道路については、補足として、今回は生活関連経路としてはこういう理由で指定していないが、こういうことも検討したい、検討して事業をするといった記載も可能であるので、少し検討してみてはどうか。名前にこだわらないのでよければ、その他経路等として指定することも考えられる。

長谷川委員：

菖蒲池駅周辺地区の重点整備地区の範囲が、他のこれまでの地区に比べると狭いのではないか。

事務局：

菖蒲池駅周辺地区の重点整備地区は、北側においては私道や行き止まりの道が多く、奈良市道を境界にしていくと、かなり北側まで広げる必要がでてくるため、現在の境界でと考えている。

長谷川委員：

あくまでも道路という管理者としての目線でこういうことを決めたということか。

事務局：

その通りである。

三星会長：

バリアフリーは、全市的にどこもやらなければいけないところであるが、それをメリハリをつけて基本構想で進めていくということで一般的な考え方だと思う。また、基本構想以外にバリアフリーマスタープランがある。基本構想での位置付けが難しい場合でも、マスタープランにおいて考え方を整理していく必要があるなど思っている。

山本委員：

菖蒲池駅周辺地区の図面について、吉田病院のところは大和中央道が整備されているので反映してほしい。

三星会長：

皆さんは、吉田病院にはどこから行く人が多いのか。

元山委員：

最寄り駅は菖蒲池駅で、送迎バスもあるが、線路沿いの道を歩いている方もいる。

事務局：

地図を更新する。

吉田病院は、東側の西大寺駅周辺地区に含めているため、菖蒲池駅からの生活関連経路は指定していない。送迎は大和西大寺駅からも出ている。線路沿いの道や吉田病院の進入路までも県道であるが、生活関連経路への指定を検討する。

元山委員：

菖蒲池駅と富雄駅周辺の人の動きをこの場で理解していただくのは非常に困難であるため、ワークショップで現地を見ていただくと非常にわかりやすいと思う。

事務局：

ワークショップをするまでに、事前に三星会長と一緒に現地を確認し、それから皆さんでまたまち歩きをさせてもらおうと思っている。

島田委員：

富雄駅はホームが1本しかなく、私たち視覚障害者から見ると、欄干のない橋と表現するが、常にホームから転落しないかという恐怖を持って一本橋の欄干のない橋を歩くようなつもりで歩いている。東京では、ホームの真ん中に誘導ブロックを設置して真っ直ぐ歩けるようしているホームが、モデルとしていくつか作られている。今後、ホームドアとか、可動柵とかなかなか難しいかもしれないが、ホームの対策を考えていかなければいけない。

三星会長：

関西でも検討は始まっている。

東口委員：

富雄駅は、当社の奈良市内の中では唯一の通過列車のある島式ホームの駅、線路と線路の間にホームが1つ形式の駅となっている。ホーム上の安全対策は、しっかりとやるべきことをやって時代の要請に応えていかないといけないと認識している。そのような情報をしっかりと収集し、皆様からご意見もいただきながら、より安全な駅の設備の改良につきましては研究を重ねていき、必要な対策を講じたいと考えている。

三星会長：

今の点字ブロックがホーム側になったのは、1つは真っ直ぐ通せるからである。中央だと施設や階段等があつてなかなか通せない。必ずしも真っ直ぐ真ん中を通さなければダメであるというものでもないので、部分的に真ん中に設置することも考えられる。ホームの点字ブロックから線路側は絶対に歩かないでくださいと何度も繰り返しアナウンスをしており、非常に危険であるということは交通事業者の方々も認識しているかと思う。

井上委員：

生活関連経路を設定する段階で、課題を整理しておく必要があるのではないかと。今後奈良市が公表していく、広く市民の意見を募っていくということであれば、その考えは出しておいたほうが、とりまとめするときに非常に有効なのではないかと思う。

また、菖蒲池駅周辺地区では、設定する経路は地区の中で結ばれていたほうがいいのかと思う。

三星会長：

結局エリアの設定というものはエリアが先にあるのではなくて、課題と対応させながら考えなければいけない。課題出し、順番から言うと鶏と卵の関係のように、課題があつてエリアがある、エリアがあつて課題がある。これは両方あるわけで、エリアだけが先に示されて課題が見えないので、何が問題かとか、だからエリアや経路をこうするとか考えなければいけないということかと思う。

事務局：

まち歩きまでに課題を整理する。

また、生活関連経路についてもエリアの連続性も踏まえて検討する。

三星会長：

事務局と事前に議論した際にも、いろいろな課題を頭に置きながらエリアを考えていった。

それでは、お諮りする。先ほどの付加事項を含め、基本はこれでよいと思われる方は挙手をお願いする。

(全員挙手)

賛成多数ということで承認された。付加事項の検討はこれから進めていく。

### 3. 報告

**奈良市バリアフリー特定事業計画（JR奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区、近鉄新大宮駅周辺地区、JR平城山駅周辺地区）策定作業の進捗について**

三星会長：

パブリックコメントは実施するのか。

事務局：

パブリックコメントは実施しないが、計画は市ホームページで公表する。

意見をいただいた場合は、その計画の実施主体に共有するが、計画に反映できるかどうかは協議になる。

三星会長：

市が実施主体ではない事業も多いため、必ずしも要望どおりになるかとは限らないが、意見を反映できない場合は、その理由を明確にしておく必要がある。

#### 4. その他

三星会長：

令和8年度の重点整備地区について、次回の協議会で議題に出るということであるため、それまでに意見を考えておいてほしい。

長谷川委員：

西ノ京駅は以前も話が出ていた。大和中央道が整備されてきているので、新しい地図で作成してほしい。

三星会長：

先ほどのマスタープランについて補足する。本市ではマスタープランを作成している。先ほどのような意見が、このマスタープランに反映されていないのであれば、どこかの時点で見直しが必要であると思う。

矢野委員：

菖蒲池駅周辺地区と富雄駅周辺地区は特殊な地区だと思う。富雄北小学校なんかは明治時代にできたような学校らしい。私も車椅子体験学習などに行っているが、道幅が狭かったり勾配があったりで車椅子で行くには大変である。駅周辺も密集したところが多いので、バリアフリー化するには道路の幅を広げる必要があるのではないかと思う。

田上委員：

メイン通りから少し中に入った生活道路は本当に狭い道が多い。なおかつ私道も多い。道路管理者として計画を持った上で道路改良工事を進める必要があるが、なかなか進まない現状がある。多くの方々が利用される道路がどうしても優先されてしまう。

大西委員：

今回初めて参加したため、わからないことがたくさんある。今回の2つの地区についても普段使っていないので交通、道の状態がわからないが、まち歩きのとときに意見したい。

道路の狭さは、防災上の問題もあるので、みんなが安心して暮らせるような方法を考えていてほしいと思う。

島田委員：

関西で万博に行くにあたり、WEB でしかチケットを予約できず、電話対応ができないということで、視覚障害者にとってはお手上げの状態であった。知り合いの人に予約をしてもらい行けることになったが、私は非常にがっかりし落胆した。IT が進んできて、視覚障害者や高齢者も含め、すべての人が機器を使いこなせるわけではない。

中に入ってから、映像が多く、視覚障害者が触れるものはないかパビリオンでも聞いたが、目からの情報が多く、触ったり、耳で楽しめたりできるものがもう少しあってもよかったのかなというのが感想だった。

三星会長から話のあったトイレはどこにあるのか見つけることができなかった。

三星会長：

今回のデザイントイレについてはあちこちにたくさんあったが、どこにどんなものがあるかという情報が視覚障害者にわかるように提供できていなかった。

入場券をはじめとするソフトについて意見を同時に多く出したが、縦割りで全く届いていなかった。縦割りというのはユニバーサルデザインの敵だというのがよくわかった。

つい先般東京で開催された視覚障害者の競技会では相当改善されている。また、その反省が文章になって出てくれば、この委員会などでも共有したい。

長谷川委員：

今までの地区でやってきた経験を生かしてやっていただきたい。駅が終わると、これで終わりではなく、住宅地、生活の場所についても進めていかなければならないということ、今後の考え方として持っていただきたい。

#### 4. 閉会（事務局）

以上